令和四年度　公立学校教員採用候補者選考試験問題

国　語

1／15枚中

注意　答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。句読点は字数に含む。

第一問題　次の文章を読み、後の問に答えよ。

I

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

2025 kyosai-guild.jp

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

（宇野重規の文章より）

（注）トクヴィル…十九世紀のフランス貴族。アメリカを訪問し、『アメリカのデモクラシー』を執筆した。

問1　二重傍線部a「チクセキ」、b「ソクバク」、c「ジリツ」を漢字に直せ。

問2　［a］にあてはまる接続詞として、最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A　なぜなら　　B　たとえば　　C　もちろん　　D　しかし　　E　ところで

問3　傍線部①「デモクラシー」について、次の問に答えよ。

(1)「デモクラシー」は一般的にどのような意味で使われているか、漢字四字で答えよ。

(2) 本文において、デモクラシーは「　」をつけて表記されている。その理由を説明したものとして、最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A　筆者の主張を伝えるキーワードとして印象づけるため。
B　トクヴィルの著書からの引用であることを強調するため。
C　筆者の考えとは異なるものであることを伝えるため。
D　トクヴィルの考えた意味で使用していることを示すため。
E　トクヴィルの書いた本の題名であることを示唆するため。

問4　傍線部②「そのような特別の人物は見当たらなくなります」とあるが、このことによって人々は何を失うのか。傍線部②以降の文章から、五字程度で抜き出して答えよ。

問5　［ア］にあてはまる言葉として、最も適当なものをA～Dから選び、記号で答えよ。

A　多数の暴政　　B　少数の苛政　　C　多数の善政　　D　少数の徳政

問6　傍線部③についてトクヴィルはなぜ『人々の関心が、「いま・ここ」に集中しがち』と考えるのか。三十字以上四十字以内で説明せよ。

2025 kyosai-guild.jp

問7　この文章を授業で学んだAさんは「個人主義」という言葉に興味を持った。個人主義に関する他の文章を探したところ、夏目漱石『私の個人主義』を見つけたので、【ノート】を作成して理解を深めることにした。

Ⅱ

御存じの通りイギリスという国は大変自由を尊ぶ国であります。それほど自由を愛する国でありながら、またイギリスほど秩序の調った国はありません。実をいうと私はイギリスを好かないのです。嫌いではあるが事実だから仕方なしに申し上げます。あれほど自由でそうしてあれほど秩序の行き届いた国は恐らく世界中にないでしょう。日本などは到底比較にもなりません。しかし彼らはただ自由なのではありません。自分の自由を愛するとともに他の自由を尊敬するように、小供の時分から社会的教育をちゃんと受けているのです。だから彼らの自由の背後にはきっと義務という観念が伴っています。England expects every man to do his duty といった有名なネルソンの言葉は決して当座限りの意味のものではないのです。彼らの自由と表裏して発達して来た深い根柢をもった思想に違ないのです。

〈中略〉

それで私は何も英国を手本にするという意味ではないのですけれども、要するに義務心を持っていない自由は本当の自由ではないと考えます。というものは、そうした我儘な自由は決して社会に存在し得ないからであります。よし存在してもすぐ他から排斥され踏み潰されるに極っているからです。私は貴方がたが自由にあらん事を切望するものであります。同時に貴方がたが義務というものを納得せられん事を願って已まないのであります。こういう意味において、私は個人主義だと公言して憚らない積です。

この個人主義という意味に誤解があっては不可せん。ことに貴方がたのようなお若い人に対して誤解を吹き込んでは私が済みませんから、その辺はよく御注意を願っておきます。時間が逼っているから成るべく単簡に説明致しますが、個人の自由は先刻お話した個性の発展上極めて必要なものであって、その個性の発展がまた貴方がたの幸福に非常な関係を及ぼすのだから、どうしても他に影響のない限り、僕は左を向く、君は右を向いても差支ないくらいの自由は、自分でも把持し、他人にも附与しなくてはなるまいかと考えられます。それが取も直さず私のいう個人主義なのです。

（夏目漱石『私の個人主義』より）

〔ノート〕

「個人主義」について考える

Ⅰ　トクヴィルの「個人主義」　【　①　】

二人の違い（キーワード「社会」）

Ⅱ　夏目漱石の「個人主義」　【　②　】

【　③　】

次の(1)、(2)について答えよ。

(1)　①、②には、トクヴィルと夏目漱石が考える「個人主義」の説明が入る。それぞれ二十字以上三十字以内で答えよ。

(2)　③にはトクヴィルと夏目漱石の「個人主義」の違いが入る。二人の「個人主義」の違いを、「社会」という語を用いて七十字以上八十字以内で説明せよ。

2025 kyosai-guild.jp

第二問題　次の文章は、太宰治「猿ヶ島」の一節である。海を越えて島にたどり着いた「私」は、木に登ろうとしてその枝を折ってしまった。以下はそれに続く場面である。この文章を読み、後の問に答えよ。（設問の都合上、一部本文に修正を加えている。）

「折つたな。」

その声を、つい頭の上で、はつきり聞いた。私は幹にすがつて立ちあがり、うつろな眼で声のありかを捜したのである。ああ。戦慄が私の背を走る。朝日を受けて金色にかがやくダンガイ[a]を一匹の猿がのそのそと降りて来るのだ。私のからだの中でそれまで眠らされてゐたものが、いちどにきらつと光り出した。

「降りて来い。枝を折つたのはおれだ。」

「それは、おれの木だ。」

崖を降りつくした彼は、さう答へて滝口のはうへ歩いて来た。私は身構へた。彼はまぶしさうに額へたくさんの皺[b]をよせて、私の姿をじろじろ眺め、やがて、白い歯をむきだして笑つた。笑ひは私をいらだたせた。

「をかしいか。」

「をかしい。」彼は言つた。「海を渡つて来たらう。」

「うん。」私は滝口からもくもく湧いて出る波の模様を眺めながらうなづいた。せま苦しい箱の中で過したながい旅路を回想したのである。

「なんだか知らぬが、おほきい海を。」

「うん。」また、うなづいてやつた。

「やつぱり、おれと同じだ。」

彼はさう呟き、滝口の水を掬つて飲んだ。いつの間にか、私たちは並んで坐つてゐたのである。

「ふるさとが同じなのさ。一目、見ると判る。おれたちの国のものは、みんな耳が光つてゐるのだよ。」

彼は私の耳を強くつまみあげた。私は怒つて、彼のそのいたづらした右手をひつ掻いてやつた。それから私たちは顔を見合せて笑つた。私は、なにやらくつろいだ気分になつてゐたのだ。

けたたましい叫び声がすぐ身ぢかで起つた。おどろいて振りむくと、ひとむれの尾の太い毛むくじやらな猿が、丘のてつぺんに陣どつて私たちへ吠えかけてゐるのである。私は立ちあがつた。

「よせ、よせ。こつちへ手むかつてゐるのぢやないよ。ほえざるといふ奴さ。毎朝あんなにして太陽に向つて吠えたてるのだ。」

私は呆然と立ちつくした。どの山の峰にも、猿がいつぱいにむらがり、背をまるくして朝日を浴びてゐるのである。

「これは、みんな猿か。」

私は夢みるやうであつた。

「さうだよ。しかし、おれたちとちがふ猿だ。ふるさとがちがふのさ。」

私は彼等を一匹一匹たんねんに眺め渡した。ふさふさした白い毛を朝風に吹かせながら児猿に乳を飲ませてゐる者。赤い大きな鼻を空にむけてなにかしら歌つてゐる者。縞の美事な尾を振りながら日光のなかでつるんでゐる者。しかめつらをして、せはしげにあちこちと散歩してゐる者。

私は彼に囁いた。

「ここは、どこだらう。」

彼は慈悲ふかげな眼ざしで答へた。

「おれも知らないのだよ。しかし、日本ではないやうだ。」

「さうか。」私は①溜息をついた。「でも、この木は木曾檜のやうだが。」

彼は振りかえつて枯木の幹をぴたぴたと叩き、ずつと梢を見上げたのである。

「さうでないよ。枝の生えかたがちがふし、それに、木肌の日の反射のしかただつて鈍いぢやないか。もつとも、芽が出て

2025 kyosai-guild.jp

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

2025 kyosai-guild.jp

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

2025 kyosai-guild.jp

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

問1　次の(1)、(2)に答えよ。

(1)　二重傍線部a「ダンガイ」、c「カイキョウ」を漢字に直せ。また、d「傍」の読みをひらがなで書け。

(2)　二重傍線部b「歯」について、太く書かれた部分は何画目に書くか、数字で答えよ。

歯

問2　傍線部①「溜息をついた」とあるが、なぜ溜息をついたのか、十五字程度で答えよ。

問3　傍線部②「私は、この場所から立ち去らうと思つた」の理由として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A　「彼」がふるさとの自然を懐かしく語っていることで自分自身もふるさとが懐かしくなり、「彼」のように落ち着ける場所を確保したいと考えたから。

B　居場所として木を確保するために仲間同士で争わなければならない状況にあることを憂慮し、一刻も早くこの島から脱出しなければならないと考えたから。

C　「彼」は自分の故郷にできるだけ近い場所を苦労してようやく確保したようなので、そのような心地よい場所を奪い取ることはできないと考えたから。

D　この場所は誰のものでもないはずなのに、争いをしながらようやくこの場所を得たと言っている「彼」の態度にあきれ果て、一緒にいたくないと考えたから。

E　「彼」がこの場所を自分のものにするのにどれだけ苦労したかを知り、そのようなことを知らない自分が気軽にこの木にいるべきではないと考えたから。

問4　傍線部③「陶酔」の意味として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A　感動のあまりに取り乱して落ち着かなくなること。

B　美しさに心が落ち着かずにそわそわすること。

C　心を奪われてうっとりとした気持ちになること。

D　気持ちが高ぶってそのことにしか目がいかなくなること。

E　心地よさのあまりに安らかな気持ちになること。

問5　［　　］にあてはまる言葉として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A　耳を明かした

B　目を見はつた

C　眉をひそめた

D　鼻についた

E　舌を巻いた

問6　傍線部④「ふびんだつた」について、「ふびん」の意味をふまえながらここに示されている心情について四十字以上五十字以内で説明せよ。

2025 kyosai-guild.jp

問7　傍線部⑤では、これまでの語り手「私」とは異なる語り手が設定され、逃げた猿が二匹であることを語っている。その効果に関する説明として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A　物語の時間軸とは異なる語り手を設定することで、伝聞的に物語を捉え教訓を考えさせる効果が生まれている。

B　客観的に物語をとらえる語り手を設定することで、二匹の猿の愚かさをより際立たせる効果が生まれている。

C　心情を語らない語り手を設定することで、二匹の猿の思いや行動を読み手に想像させる効果が生まれている。

D　登場人物に寄り添わない語り手を設定することで、「彼」の心変わりの軽率さを印象づける効果が生まれている。

E　人間社会に生きる語り手を設定することで、物語世界が猿の世界に過ぎないことを示す効果が生まれている。

問8　この文章の表現的特徴の説明として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A　語り手は自分のことを「私」と表現しているが、「折つたな。」の声が聞こえる場面では声の対象を「一匹の猿」と表現しており、あたかも「私」が人間であるかのように読ませる工夫がなされている。

B　「滝口からもくもく湧いて」「ふさふさした白い毛」「波の音が幽かにどぶんどぶんと」などのオノマトペが序盤には多く用いられており、何も知らない「私」の幼さを読み手に印象づけている。

C　「私」が見た風景や状況について語る際、比較的短い文を段落を変えずに書き連ねることによって、風景や状況が入れ替わり立ち替わり「私」の目の前に現れていることを幻想的に表現している。

D　「彼」が「私」に人間を「おれたちの見せ物」だとして語っている場面では、それぞれの人間の様子が詳細にかつ次々に語られており、「私」と同様に読み手にも予断を許さないような工夫がなされている。

E　真実を知った「私」の「みんな知らないのか。」から始まる「彼」とのやりとりの場面では、「私」と「彼」とのやりとりがテンポ良く連続しており、二人の良好な関係が暗転していくことを示している。

2025 kyosai-guild.jp

第三問題　次のA、Bの文章を読み、後の問に答えよ。（設問の都合上、一部本文に修正を加えている。）

A

今昔、丹波の国に住む者あり。田舎人なれども、心に情ある者なりけり。それが妻を二人持ちて、家を並べてなむ住みける。本の妻はその国の人にてなむありける。それをば*1静かに思ひ、今の妻は京より迎へたる者にてなむありける、それをば、思ひ増りたる様なりければ、本の妻、a心憂しと思ひてぞ過しける。

しかる間、秋、北方に山里にてありければ、後の山の方に、いとあはれげなる音にて*2鹿の鳴きければ、男、今の妻の家に居たりける時にて、妻に、「①こはいかが聞きたまふか」といひければ、今の妻、「煎物にても甘し、焼物にても美き奴ぞかし」といひければ、男、心に違ひて、「京の者なれば、かやうのことをば興ずらむ」とこそ思ひけるに、「少しb心づきなし」と思ひて、ただ本の妻の家に行きて、男、「この鳴つる鹿の音は聞きたまひつるか」といひければ、本の妻、かくなむいひける。

Ⅰわれもしかなきてぞ君に恋ひられし今こそこゑをよそにのみきけ

と。

男、これを聞きて、いみじくあはれと思ひて、今の妻のいひつること、思ひあはされて、②今の妻の志、失せにければ、京に送りてけりc。さて、本の妻となむすみける。

思ふに、田舎人なれども、男も女の心を思ひ知りて、かくなむありける。また、女も心ばへをかしかりければ、かくなむ和歌をもよみけるとなむ語り伝へたるとや。

（『今昔物語集』より）

B

やまとうたは、人の心を種として、よろづの言の葉とぞなれりける。世の中にある人、*3ことわざ繁きものなれば、心に思ふことを、見るもの、聞くものにつけて、言ひ出せるなり。花に鳴く鶯、水にすむ蛙の声を聞けば、生きとし生けるもの、③いづれか歌をよまざりける。力をも入れずして天地を動かし、目に見えぬ鬼神をも、あはれと思はせ、男女のなかをも和らげ、猛き武士の心をも、慰むるは歌なり。

（『古今和歌集』より）

（注）　*1　静か……つまらなく

*2　鹿……秋の風物を代表する一つとして、雄鹿が妻恋いする鳴き声などが和歌に取り上げられる。

*3　ことわざ繁きものなれば……さまざまな出来事に関わっているので

問1　二重傍線部a～cについて、次の(1)、(2)に答えよ。

(1)　a「心憂し」、b「心づきなし」の意味を答えよ。

(2)　c「て」の文法的説明として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A　格助詞「て」
B　接続助詞「て」
C　完了の助動詞「つ」の未然形
D　完了の助動詞「つ」の連用形
E　強意の助動詞「つ」の未然形

2025 kyosai-guild.jp

問2　傍線部①「こはいかが聞きたまふか」、傍線部③「いづれか歌をよまざりける」を現代語訳せよ。ただし、①については、「こ」が指す内容を明らかにすること。

問3　Ⅰの歌の説明として適切なものを、A～Eから全て選び、記号で答えよ。

A　「われ」は本の妻である。過去の助動詞「き」が使われており、夫の愛が過去のものになってしまったことに対する悲しみが表現されている。

B　「しか」は「然か」と「鹿」の掛詞である。「しかなきて」は「鹿が妻を恋しく思って鳴く、そのように」という意味になる。

C　「君に恋られし」は、「男が今の妻に恋をなさってしまった」という意味で、尊敬の助動詞を使って男への尊敬の念を示そうとしている。

D　「よそ」は「他所」と「四十」の掛詞である。「よそにのみ」は「他の場所にばかり、何度も」という意味で、男に対する強い憤りを表している。

E　係助詞「こそ」を受けて、末尾の「聞く」が連体形に変化している。この部分には、「私の悲しみの声を聞いてほしい」という願望が表れている。

問4　傍線部②「今の妻の志、失せにければ」とあるが、なぜか。最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A　今の妻は田舎人の男を疎ましく思っており、風流なやりとりをしようとしても応えてくれないから。

B　今の妻は京の都から迎えた者なので、情趣を解する女性だろうと思っていたが、期待外れだったから。

C　今の妻は京の都の感覚で生活するので、最初は目新しかったが、徐々に面倒に思うようになったから。

D　今の妻は食事のことばかりを考えているので、このまま夫婦として生活していけるか不安だったから。

E　今の妻は本の妻よりも自分を愛してくれるはずだと思っていたが、冷たい態度をとり続けていたから。

問5　Ⅱ、Ⅲの文章に共通して示されているのはどのようなことか。二十字以上三十字以内で答えよ。

問6　Ⅱにある Ⅰ の和歌は、一部表現を変えて『新古今和歌集』にも収められている。また、Ⅲは『古今和歌集』の序文である。この二つの和歌集に関する説明のうち、間違っているものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A　『古今和歌集』、『新古今和歌集』は、『万葉集』とともに三大歌集と呼ばれる。

B　『古今和歌集』、『新古今和歌集』はともに、天皇の命令で編集された和歌集である。

C　『古今和歌集』は平安時代に成立した和歌集で、紀貫之が仮名で序文を書いている。

D　『古今和歌集』の力強くおおらかな読みぶりは「ますらをぶり」と言われている。

E　『新古今和歌集』は鎌倉時代に成立した和歌集で、美しく幻想的な歌が多い。

2025 kyosai-guild.jp

第四問題　次の文章を読んで、後の問に答えよ。（出題の都合上、旧字体を改め、一部訓点を省略している。）

子路為蒲宰。為水備与其民修溝洫。以民之労煩苦也、人与之一簞食・一壺漿。孔子聞之、①使子貢止之。②子路忿然不説、往見孔子曰、「由也③以暴雨将至、恐有水災。故与民修溝洫、以備之。而民多乏餓者。a是以簞食・壺漿而与之。夫子使賜止之、是夫子止由之行仁也。夫子以仁教、而禁其行、由不受也。」孔子曰、「汝以民為餓也、何不白於君発倉廩以賑之。④而私以爾食饋之、是汝明君之無恵、而見已之徳美。汝速已、則⑤可。不、則汝之見罪必矣。」

（『孔子家語』より）

（注）
＊1　子路……孔子の門人・仲由の字。
＊2　蒲宰……蒲（地名）の長官。
＊3　溝洫……田畑の間に掘った溝、水路。
＊4　一簞食……竹で編んだ器に入れた飯。
＊5　一壺漿……壺に入れた漿（飲み物）。
＊6　子貢……孔子の門人・端木賜の字。
＊7　忿然……怒って不快となる。
＊8　君……主君。
＊9　倉廩……政府の管理する米倉。

問1　二重傍線部a「是以」、b「爾」の読みを現代仮名遣いで答えよ。ただし、aは送り仮名を補って答えること。

問2　傍線部①には訓点（返り点・送り仮名）を施し、傍線部③は書き下し文にせよ。

2025 kyosai-guild.jp

問3　傍線部②の理由として最も適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A　子路が豪雨に備えて民に溝の修理を命じたところ、それを聞いた孔子がやめさせたから。
B　子路が水害を防止するために民と溝を修理したところ、子貢にやめるよう言われたから。
C　子路が疲れた民に食べ物や飲み物を与えたところ、それを聞いた孔子がやめさせたから。
D　子路が孔子に民の訴えを聞き入れるよう頼んだところ、子貢にやめるよう言われたから。
E　子路が主君に飢えた民を救うよう進言したところ、それを聞いた孔子がやめさせたから。

問4　傍線部④「之」が指す内容を十字以内で答えよ。

問5　傍線部⑤について、なぜ孔子は子路が処罰されると考えたのか。四十字以上五十字以内で説明せよ。

問6　本文を学習した後、Bさんのクラスでは更に孔子について調べ、「孔子新聞」を作成して発表することになった。

(1)　本文の内容を記事にした。記事の「小見出し」として適当でないものを、A～Eから一つ選び、記号で答えよ。

A　師である孔子に反論した子路
B　仁を実行することの難しさ
C　民を救おうとした子路への忠告
D　民衆を励ます孔子の言葉
E　先生と弟子の激論

(2)　「孔子新聞」の中で、孔子を知るための本を紹介することになった。弟子たちが書いた孔子の言行録で、四書の一つでもある書物の名前を答えよ。

2025 kyosai-guild.jp

第五問題　学習指導要領について、後の問に答えよ。

○問1は、次に指示するとおり、どちらかを選択して解答すること。
・中学校受験者は、Ⅰ〔中学校学習指導要領に関する問題〕を解答すること。
・高等学校受験者は、Ⅱ〔高等学校学習指導要領に関する問題〕を解答すること。
・特別支援学校受験者は、Ⅰ〔中学校学習指導要領に関する問題〕またはⅡ〔高等学校学習指導要領に関する問題〕のいずれかを選択して解答すること。選択した区分について、解答用紙所定の欄に○で囲んで示すこと。
○問2は全員解答すること。

Ⅰ〔中学校学習指導要領に関する問題〕

問1　次の文章は中学校学習指導要領（平成二十九年告示）「第2章　各教科　第1節　国語」の「第2　各学年の目標及び内容」の一部である。［ア］～［オ］にあてはまる語句を後のA～Pより選び、記号で答えよ。

〔第1学年〕2内容〔知識及び技能〕
(3)　我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア　音読に必要な文語のきまりや［ア］を知り、古文や漢文を音読し、古典特有の［イ］を通して、古典の世界に親しむこと。
イ　古典には様々な種類の作品があることを知ること。
ウ　［ウ］の果たす役割について理解すること。
エ　書写に関する次の事項を理解し使うこと。
(ｱ)字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。
(ｲ)漢字の［エ］の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を［エ］で書くこと。
オ　［オ］が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解すること。

A　リズム　　B　読書　　C　共通語と方言　　D　話し言葉と書き言葉
E　訓読の仕方　　F　草書　　G　訓点の付け方　　H　表現の特色
I　本や新聞　　J　行書　　K　言葉の響き　　L　古語と現代語
M　隷書　　N　文体　　O　漢文の句法　　P　学校図書館

Ⅱ〔高等学校学習指導要領に関する問題〕

問1　次の(1)、(2)に答えよ。

(1)　次の文章は高等学校学習指導要領（平成三十年告示）「第2章　各教科　第1節　国語」の「第1款　目標」である。［ア］、［イ］にあてはまる語句を後のA～Hより選び、記号で答えよ。

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)　生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
(2)　生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、［ア］や想像力を伸ばす。
(3)　言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、［イ］を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

A　認識力　　B　言語感覚　　C　表現力　　D　人間性
E　思考力　　F　論理性　　G　語感　　H　感性

2025 kyosai-guild.jp

(2) 次の文章は高等学校学習指導要領（平成三十年告示）「第2章　各教科　第1節　国語」に示された各科目の教材の取り扱いに関する留意事項の一部をまとめたものである。次の①、②に答えよ。

① [ウ]、[エ]にあてはまる語句を後のA～Hより選び、記号で答えよ。

② [オ]には同じ語が入る。漢字二字で答えよ。

論理国語	【読むこと】 ○近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要とされる[ウ]な文章 ○必要に応じて、翻訳の文章や[オ]における論理的な文章などを用いることができる
文学国語	【読むこと】 ○近代以降の文学的な文章 ○必要に応じて、翻訳の文章、[オ]における文学的な文章、近代以降の文語文、演劇や映画の作品及び文学などについての[エ]などを用いることができる

A　説明的　　B　創造的　　C　文化的　　D　評論文
E　批評文　　F　紹介文　　G　実用的　　H　鑑賞文

問2　「読むこと」の指導のために「詩の表現とその効果について評価しよう」という単元を設定した。後の(1)～(4)に答えよ。

〔単元の目標〕

対象となる学年の校種別に、この単元の重点指導事項を次の通り設定することとする。

中学校第三学年……Cウ　文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。

高等学校第一学年…言語文化Cウ　文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。

〔学習の流れ〕

1　「レモン哀歌」を音読する。

2　作者・高村光太郎やその妻である「智恵子」について知る。

3　この詩の表現の中で心に残ったものを挙げ、どのような表現効果を上げているか各自で評価し、鑑賞文を書く。

4　グループで意見交換し、もう一度鑑賞文をまとめる。

2025 kyosai-guild.jp

〔教材〕※設問の都合上、①～⑱の行番号を付けている。

「レモン哀歌」　高村光太郎

①そんなにもあなたはレモンを待つてゐた
②かなしく白くあかるい死の床で
③わたしの手からとつた一つのレモンを
④あなたのきれいな歯ががりりと噛んだ
⑤トパァズいろの香気が立つ
⑥その数滴の天のもののなるレモンの汁は
⑦ぱつとあなたの意識を正常にした
⑧あなたの青く澄んだ眼がかすかに笑ふ
⑨わたしの手を握るあなたの力の健康さよ
⑩あなたの咽喉に嵐はあるが
⑪かういふ命の瀬戸ぎはに
⑫智恵子はもとの智恵子となり
⑬生涯の愛を一瞬にかたむけた
⑭それからひと時
⑮昔山巓でしたやうな深呼吸を一つして
⑯あなたの機関はそれなり止まつた
⑰写真の前に挿した桜の花かげに
⑱すずしく光るレモンを今日も置かう

(1)　〔学習の流れ1〕この詩を音読させる際、行番号⑪や⑮では漢字の読み方以外にどのようなことに留意させるべきか記せ。

(2)　〔学習の流れ3〕行番号⑩の表現が心に残ったという生徒がいた。「咽喉に嵐はある」という部分に用いられている比喩の種類とこの部分が表現しようとしていることを答えよ。

(3)　〔学習の流れ3〕「表現の仕方」や「表現の特色」について評価させる際に重要なこととして当てはまらないものをA～Eから選び、記号で答えよ。

A　なぜそのような判断をしたかについて、根拠を明らかにすること。
B　感心した点だけでなく違和感を覚えた点についても指摘すること。
C　評価することを自分が文章を書く際にも役立てるようにすること。
D　文章を完成されたものとして受け止め、その巧みな表現に学ぶこと。
E　自分にとってどのような価値をもっているか説明できるようにすること。

(4)　〔学習の流れ3〕においてこの詩の表現について百五十字程度の鑑賞文を書かせたところ、Cさんは次のようにまとめた。

Cさんのノートより

私はレモン哀歌を読んで、少し悲しい気持ちになりました。作者の妻である智恵子が息を引きとっていく様子が伝わってきたからです。また、看病する作者とその妻の智恵子はお互いに深い愛情で結ばれていたんだなと感じることもできました。私も将来、そんな人と出会えたらいいなと思いました。

Cさんの鑑賞文にはどのような課題があるか。また、その課題に対してどのような指導をするか。注目させるところを行番号を用いて挙げ、具体的に説明せよ。

2025 kyosai-guild.jp

第一問題

問	小問	解答	配点
問1	a	蓄積	1点×3
	b	束縛	
	c	自律	
問2		C	2点
問3	(1)	民主主義	2点
	(2)	D	2点
問4		思考の基準	3点
問5		A	2点
問6		家の伝統と切り離された現代では、人々は自分の人生をより短期的に捉えるから。（三十七字）	4点
問7	(1)①	他者との関係が希薄化して、自分の世界に閉じこもること。（二十七字）	3点
	(1)②	他者を尊重するという義務の下、個人の自由を求めること。（二十七字）	3点
	(2)	トクヴィルは社会から離れた狭い世界で人が孤独に生きることを言っているが、漱石は互いを尊重する義務のある社会の中で、各自が自由に生きることだと述べている。（七十六字）	6点

2025 kyosai-guild.jp

令和四年度　解答例

国語

2／4枚中

第二問題

問1

(1)

a	
断崖	
c	
海峡	
d	
かたわ（ら）	

1点×3

(2)

5	

2点

問2

こ	
こ	
が	
日	
本	
で	
は	
な	
い	
と	
知	
っ	
た	
か	
ら	15
。	

3点（十六字）

問3

E

2点

問4

C

2点

問5

B

2点

問6

彼	わ	
は	い	
、	そ	
ど	う	
こ	だ	
に	と	
連	思	
れ	っ	
て	た	
来	。	
ら		
れ		
た		
の		
か		
も		
知		
ら		
ず		
、		
	か	40

（五十字）

6点

問7

C

2点

問8

A

3点

2025 kyosai-guild.jp

令和四年度　解答例

国語

3／4枚中

第三問題

問1		
(1)	a	つらい
	b	気にくわない
(2)		D

1点×3

問2	
①	鹿の鳴き声をどのようにお聞きになるか
③	だれが歌をよまないであろうか（いや、皆歌をよむのだ）

2点　2点

問3
A、B

2点

問4
B

1点

問5	
和	
歌	
に	
は	
、	
人	
の	
心	
を	
動	
か	
す	
大	
き	
な	
力	
が	
あ	
る	
と	20

（二十五字）

3点

問6
D

2点

第四問題

問1	
a	ここをもって
b	なんじ

1点×2

問2	
①	使ム二子貢一ヲシテ止メレ之ヲ
③	暴雨の将に至らんとするを以て

2点　2点

問3
C

1点

問4
飢
え
に
苦
し
む
民

1点

問5	
主	
君	
に	
慈	
し	
み	
の	
心	
が	
な	
い	
こ	
と	
を	
民	
に	
明	
ら	
か	
に	40

（四十八字）

4点

問6	
(1)	
D	
(2)	
論語	

(1)2点、(2)1点

2025 kyosai-guild.jp

令和四年度　解答例

国語

4／4枚中

第五問題（問1は選択問題。Ⅰ　中学校、Ⅱ　高等学校のどちらかを選んで答えること。問2は共通問題。）

選んだ区分を○で囲むこと。　Ⅰ　中学校　　Ⅱ　高等学校

Ⅰ　中学校

問1

ア	E
イ	A
ウ	C
エ	J
オ	B

1点×5

Ⅱ　高等学校

問1

(1)	ア	E
	イ	B
(2)	①	ア
	②	ウ
		G
		イ
		エ
		D
		オ
		古典

1点×2

1点×3

問2

(1)	歴史的仮名遣いの読み方　2点
(2)	(比喩の種類) 隠喩（暗喩・メタファー）　1点 (表現しようとしていること) 智恵子が苦しそうな荒い呼吸をしていること。　2点
(3)	D　1点
(4)	課題　感想を述べているだけであり、この詩の表現で心に残った点を挙げていない。また、鑑賞文のテーマである「表現効果」について書かれていない。　2点 指導　具体的に心に残った表現を挙げさせ、なぜそう感じたのか、根拠を示すように指導する。例えば、⑥⑦に注目すると、「レモン」には智恵子の意識をとりもどす不思議な力があると受け取れる。その様な表現の工夫や効果に注目するよう助言する。　2点

2025 kyosai-guild.jp